

プロジェクトチーム研究レポート

統合型リゾート (IR)

平成28年4月27日

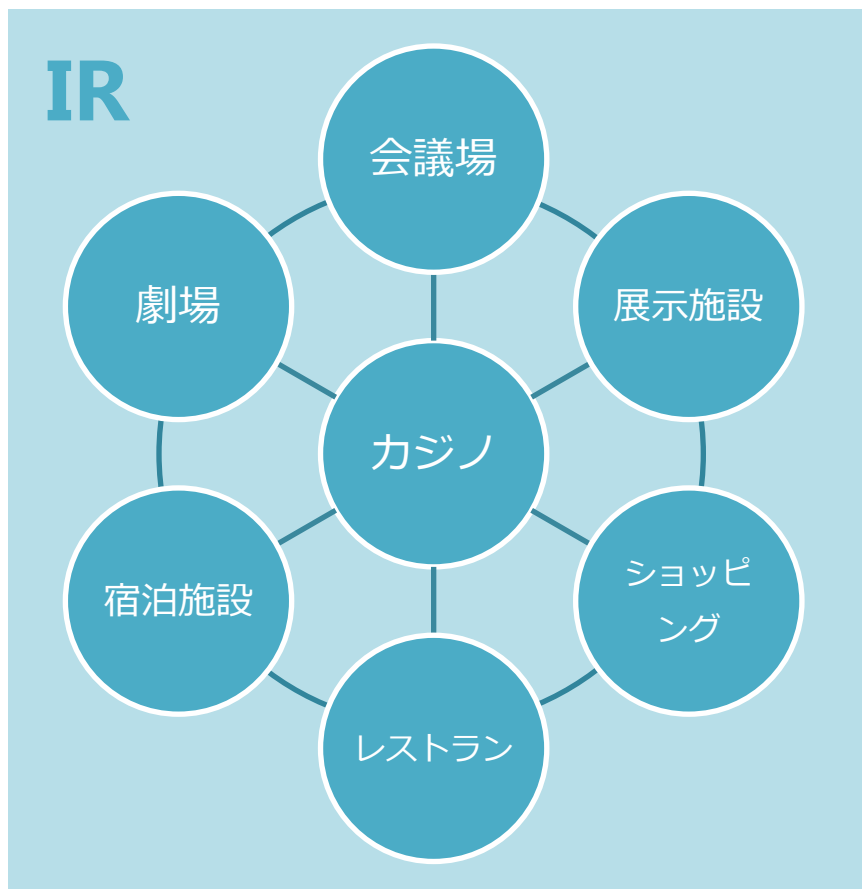
メンバー

	所 属	職名	氏 名
総括者	政策調整部	部長	瀬崎 典男
副総括者	政策調整課	課長	犬塚 康司
チーム員	交通政策課	班長	南 克幸
チーム員	都市計画課	班長	池上 正道
チーム員	保健対策課	班長	松岡 信一郎
チーム員	産業政策課	企画員	瀧本 寿
チーム員	青少年課	主査	増田 浩至
チーム員	観光課	主査	平田 二郎
チーム員	政策調整課	副主査	山野 進弥

- 1 統合型リゾート（IR）の概要
- 2 海外IRの事例
- 3 IR導入によるメリット
- 4 IR導入によるデメリット
- 5 和歌山市での候補地
- 6 公共交通によるアクセス

IRとは

IR（Integrated Resort）とは、カジノ施設、会議場施設、展示施設、ショッピングモール、レストラン、宿泊施設その他観光振興に寄与する施設が一体となった施設の総称



マリーナ・ベイ・サンズ（シンガポール）

IR推進法（案）

【正式名称】 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（案）

定義 施設内容 カジノ、会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設 等

役割 地方公共団体 → 「特定複合観光施設区域 ※」の認定申請
カジノ管理委員会の許可を受けた民間事業者 → 設置、運営

※ 地域の特性を活かしつつ、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成の中核となる機能を備えた区域

- 基本理念**
- 国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現
 - 地域経済の振興に寄与
 - 国の監視及び管理下で運営されるカジノ施設の収益を社会に還元

運営に関する規制

政府は、カジノ施設における不正行為の防止や運営に伴う有害な影響の排除を適切に行う観点から、必要な措置取る

IRの整備に必要な措置については、IR推進法の施行後一年以内を目処に法整備されることになっている（IR実施法）

和歌山市の立地



和歌山市は関空から30分程度で来ることができ、高野山、白浜などの観光名所にも近く、「国際競争力の高い魅力ある観光地の形成の中核」になるポテンシャルを持っている

マリーナ・ベイ・サンズ (シンガポール)



敷地面積 約15ha

主な施設

- ホテル (約2,600室)
- カジノ
- 会議場・展示場 (約120,000㎡)
- ショッピングモール
- 劇場 (2施設 約4,000人収容)
- 屋上プール

直接雇用 約9,000人

カジノ売上 約24億ドル

- ・ MICE、特にC (コンベンション) E (展示会、見本市) の機能が充実したIR
- ・ リゾートだけではなく、国際会議や展示会などを開催できるMICE機能を充実させることで、平日の集客も図っている

リゾート・ワールド・セントーサ (シンガポール)



敷地面積 約49ha

主な施設

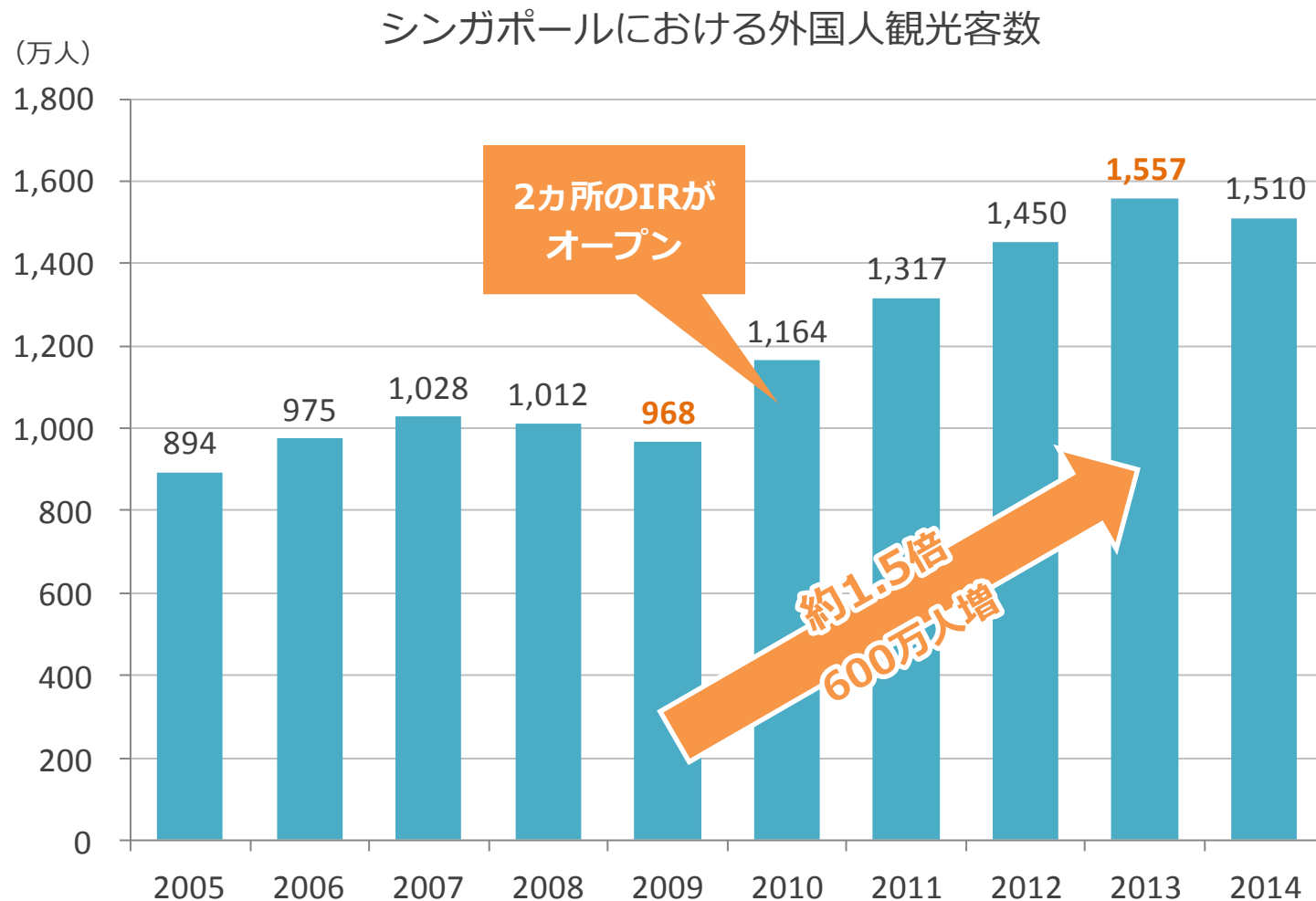
- ホテル (約1,500室)
- カジノ
- ユニバーサル・スタジオ
- 水族館
- ショッピングモール
- 劇場

直接雇用 約13,000人

カジノ売上 約17億ドル

- ・ アミューズメント施設等が充実したリゾート型のIR
- ・ MICEはM (企業ミーティング等) I (企業研修等) の機能が充実
- ・ ユニバーサル・スタジオ・シンガポール (東南アジア初) や世界最大級の水族館を有しており、ファミリー客やレジャー客をメインターゲットにしている

IR建設による観光客増加



出典：シンガポール観光庁

カジノによる悪影響



韓国には17カ所のカジノがあり、自国民が入場できる江原ランドカジノのみ

カジノ周辺には質屋が乱立し、高級腕時計や宝石類、中には車まで質に入れる人もいる

「街にカジノ中毒者がいる」「子育てに向かない」などと一家で引っ越す人が相次ぎ、20年前は約2万5000人だった周辺の人口が、1万2000人に半減（2015.5.21 読売新聞）

ギャンブル依存症等、IRにはマイナスの側面もあるため、誘致を検討するにあたっては具体的な対策を講じる必要がある

経済効果について

経済効果については、2種類考えることができる

① IR運営に伴う経済効果

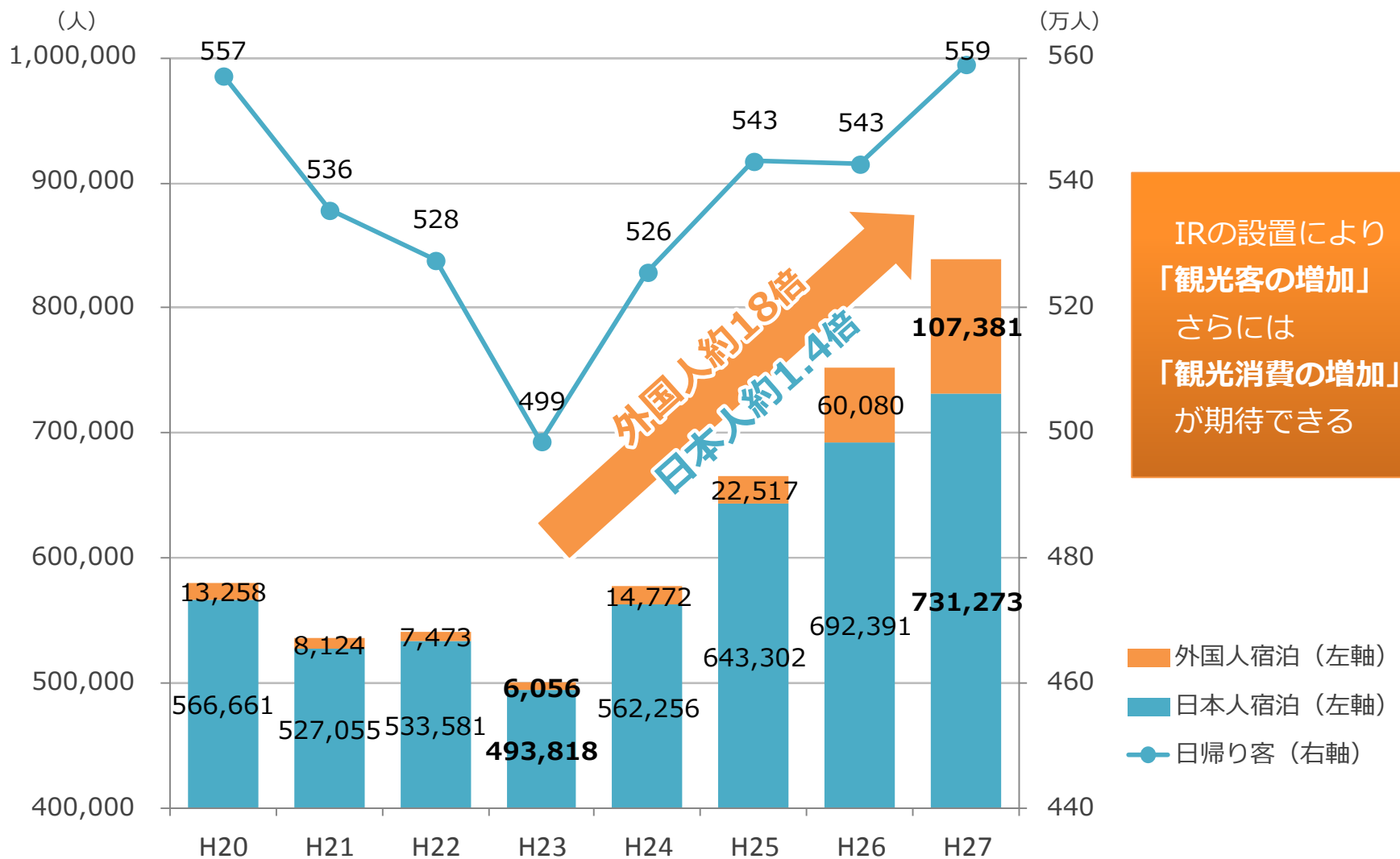
IR開業後に毎年発生する経済効果



② IR建設に伴う経済効果

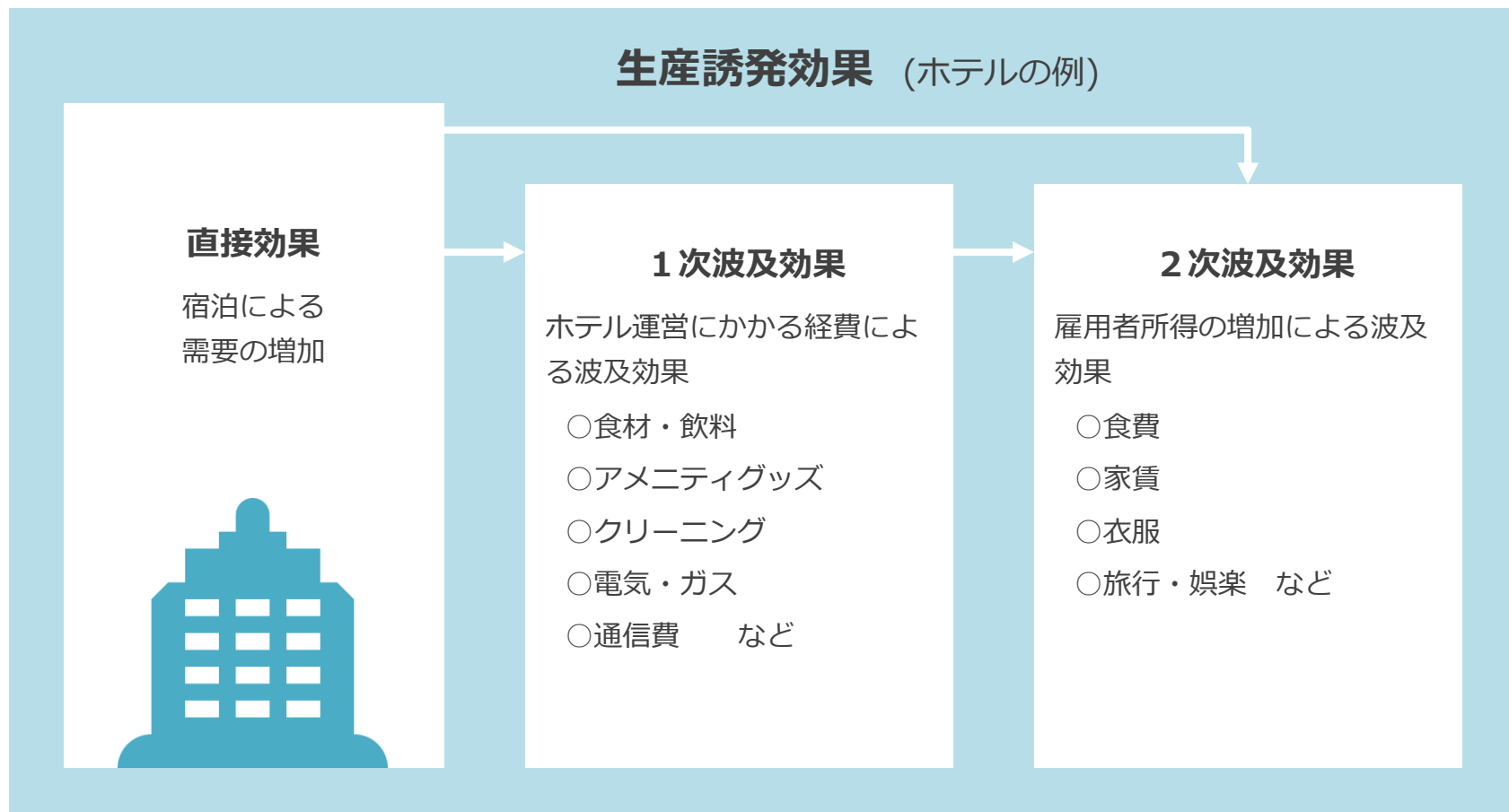
IR建設や周辺のホテル開発等に伴う一時的な経済効果

和歌山市の観光客推移



経済効果の概要

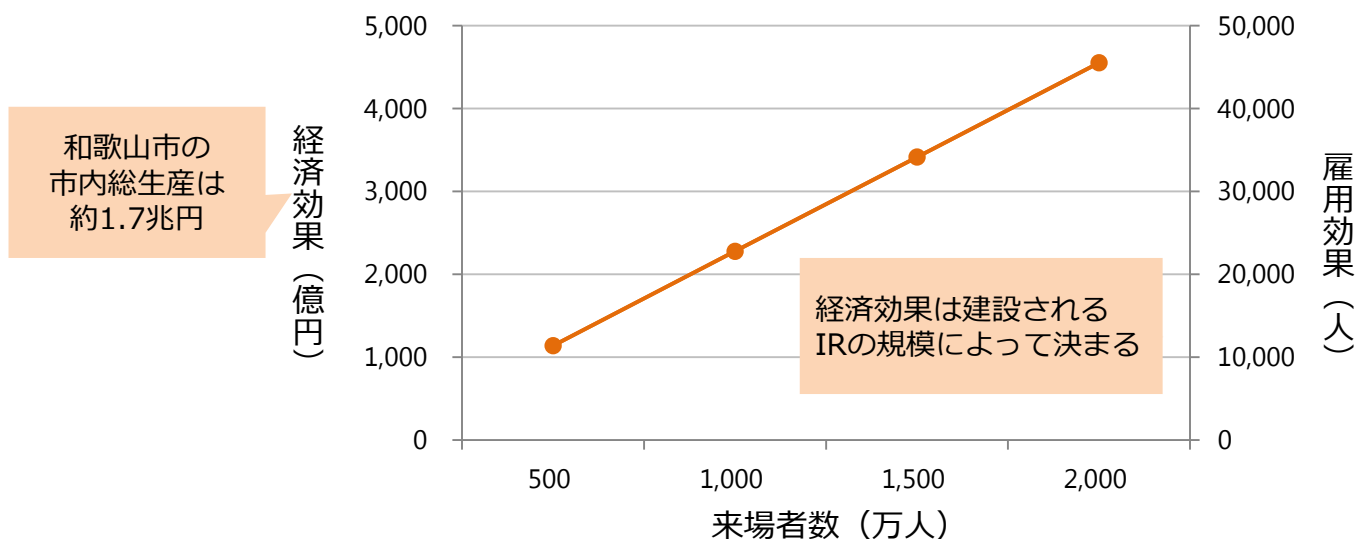
- 観光消費は、ホテル運営等にかかる経費の支出増加により、市内の事業者への売上として波及し、さらに給与支出を通じて従業員や家族の消費に波及する



来場者と経済効果・雇用効果の関係

- 和歌山県産業連関表によるIR来場者数と市全体の観光消費の拡大による経済効果、雇用効果の関係は以下のとおり想定される
- これに加え、IR建設や周辺のホテル開発等に伴う一時的な経済効果が考えられる

来場者数と経済効果、雇用効果の関係



【次の前提で試算】

- 来場者 日帰り：宿泊 ⇒ 85：15（現状の観光客の割合）
- 1人あたりの観光消費 日帰り 約11,000円（H26和歌山県観光統計調査結果を準用）
宿泊 約37,000円（ " " ）

(参考) 日本の誘客施設の入場者数

- IRが建設されると、現状の観光客数に関係なく、多くの入場者数が訪れると考えられる
- 建設されるIRの規模により入場者数、経済効果も変わってくる

観光施設の入場者数

施設名	入場者数
ディズニーランド・ディズニーシー	3,138万人
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	1,270万人
ハウステンボス	279万人
沖縄美ら海水族館	323万人
海遊館	219万人
国立新美術館	262万人
金沢21世紀美術館	176万人

2014 全国の主要レジャー・集客施設入場者数ランキング

MICE施設の入場者数

施設名	入場者数
東京ビッグサイト	1,425万人
東京国際フォーラム	234万人
パシフィコ横浜	483万人
幕張メッセ	545万人
大阪国際会議場	95万人

各施設の公式HPより

IRによるデメリット

- IRは大きな経済効果が見込まれる反面、地域社会に与える悪影響も懸念されるため、導入の際はデメリット面も十分に検証する必要がある

想定される主なデメリット

ギャンブル
依存症の増加

青少年への悪影響

犯罪の増加等
周辺地域への影響

- 行政、事業者、地域が連携し、これらの懸念事項の解消に向けて適切な対策を講じる必要がある



IRが導入されている諸外国を参考に考えられる対策の検討を行う

ギャンブル依存症対策①

- 韓国のようにIRにより依存症が社会問題になっている国もあれば、シンガポールのように特に影響が出ていないといわれている国もある
- 韓国は当初の対策が不十分であったため問題化し、シンガポールは依存症対策専門の行政機関を設立するなど当初から十分な対策を行ったため影響は小さかったと考えられる

- 日本のギャンブル依存者は500万人程度（抽出による想定値）と想定され、依存者の割合は諸外国に比べ高い水準にある（和歌山市にどれだけいるかは不明）
- 諸外国では、ギャンブル依存症を「周知徹底・教育」「防止・抑制」「救済・治療」の3段階で対策を講じているケースが多く、参考にして対策する必要がある

周知徹底・教育

- 市民に対しては様々な広報媒体を活用した啓発活動を行う
- カジノ施設で勤務する職員への教育（事業者の義務）

ギャンブル依存症対策②

防止・抑制

カジノ事業者に対して、募集の段階で具体的な依存症対策の実施（以下はシンガポールを参考にした規制例）を義務付ける必要がある

- カジノへの入場に年齢制限を設定
- 国内居住者から入場料を徴収
- 自己排除、家族・第3者要請による顧客排除プログラムの採用
- ゲームの規則、オッズなどの対顧客情報の開示
- カジノ及びカジノギャンブル広告の禁止
- IR内でのキャッシングの禁止、カジノ施設内でのATM設置の禁止
- 顧客損失条件を任意に設定できるシステムを設定

救済・治療

- 依存症の治療としては、「医療（主に精神科）」「相談（主に公的機関）」「自助グループ」が挙げられる
- 早期治療のための体制づくりが必要

青少年等への対策

諸外国では未成年保護対策のため、未成年のカジノへのアクセスを遮断し、入場させない仕組みが構築されている

	アメリカ ネバダ州	シンガポール	マカオ	韓国
入場を制限する 年齢	21歳未満	21歳未満	21歳未満	19歳未満

- カジノ事業者に対して、本人確認による入場規制の徹底を求める必要がある
(日本における入場制限年齢は国が決めることになると考えられる)
- 自治体は、未成年者に対する啓発活動を積極的に行う必要がある

【参考】

パチンコ … 18歳未満禁止

toto (サッカーくじ) … 19歳未満禁止

公営ギャンブル (競輪・競馬など) … 20歳未満禁止

犯罪等への対策

【カジノ施設内での懸念事項】

不正行為、反社会的勢力の関与、マネーロンダリング 等



カジノ事業者と連携した対策

(海外の事業者は、長年の経験からこれらの対策のノウハウを有している)

【地域社会への影響】

犯罪の増加など地域環境の悪化



- 施設の立地を教育機関から離れたところにするなど配慮が必要
- 事業者、警察、警備会社、地域住民等とともに地域の安全を守る仕組みを構築することが必要

IR法案におけるデメリット対策①

IR推進法案では、国が犯罪対策や青少年保護を講じる旨が明記されている

(カジノ施設の設置及び運営に関する規制)

第十条 政府は、カジノ施設の設置及び運営に関し、カジノ施設における不正行為の防止並びにカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行う観点から、次に掲げる事項について必要な措置を講ずるものとする。

- 一 カジノ施設において行われるゲームの公正性の確保のために必要な基準に関する事項
- 二 カジノ施設において用いられるチップその他の金銭の代替物の適正な利用に関する事項
- 三 カジノ施設関係者及びカジノ施設の入場者から暴力団員その他カジノ施設に対する関与が不適当な者を排除するために必要な規制に関する事項
- 四 犯罪の発生の予防及び通報のためのカジノ施設の設置及び運営をする者による監視及び防犯に係る設備、組織その他の体制の整備に関する事項
- 五 風俗環境の保持等のために必要な規制に関する事項
- 六 広告及び宣伝の規制に関する事項
- 七 青少年の保護のために必要な知識の普及その他の青少年の健全育成のために必要な措置に関する事項
- 八 カジノ施設の入場者がカジノ施設を利用したことに伴い悪影響を受けることを防止するために必要な措置に関する事項

IR法案におけるデメリット対策② 入場制限

IR推進法案では、国内居住者への入場制限の設定について明記されている

(カジノ施設の設置及び運営に関する規制)

第十条

- 2 政府は、前項に定めるもののほか、**外国人旅客以外の者**に係るカジノ施設の利用による悪影響を防止する観点から、**カジノ施設に入場することができる者の範囲の設定**その他の**カジノ施設への入場に関し必要な措置**を講ずるものとする。

カジノ施設に入場することができる者の範囲の設定等必要な措置を講ずるものとされているが、制限の内容についてはまだ決定していない。青少年への悪影響の問題から年齢制限は必須と考えられるが、その他の制限については2パターン考えられる。

- 韓国のように**国内居住者の入場を完全に制限**する方法
 - シンガポールのように**国内居住者から入場料を徴収**する方法
-
- 韓国には17カ所のカジノがあり、江原ランド以外は入場者を外国人に限定している
 - シンガポールは、自国民に対して、
入場料 \$ 100 (約8,000円) /日 または、\$ 2,000 (約160,000円) /年を徴収している

デメリットのまとめ

国が定めるデメリット対策の厳格運用に加え、地域での取組が必要

ギャンブル依存症

- IR導入段階から徹底した予防対策（周知徹底・教育）の実施
- 依存症対策には国の定める排除プログラムの厳格運用や救済・治療プログラムの充実

青少年への影響

- 啓発活動やカジノ施設への入場規制の徹底が必要

犯罪等の対策

- カジノ施設での犯罪等については国の責務として十分な対策が講じられると考えられるが、地域の交流人口増加に対応した防犯体制は、事業者、警察、地域住民等と連携して構築することが必要

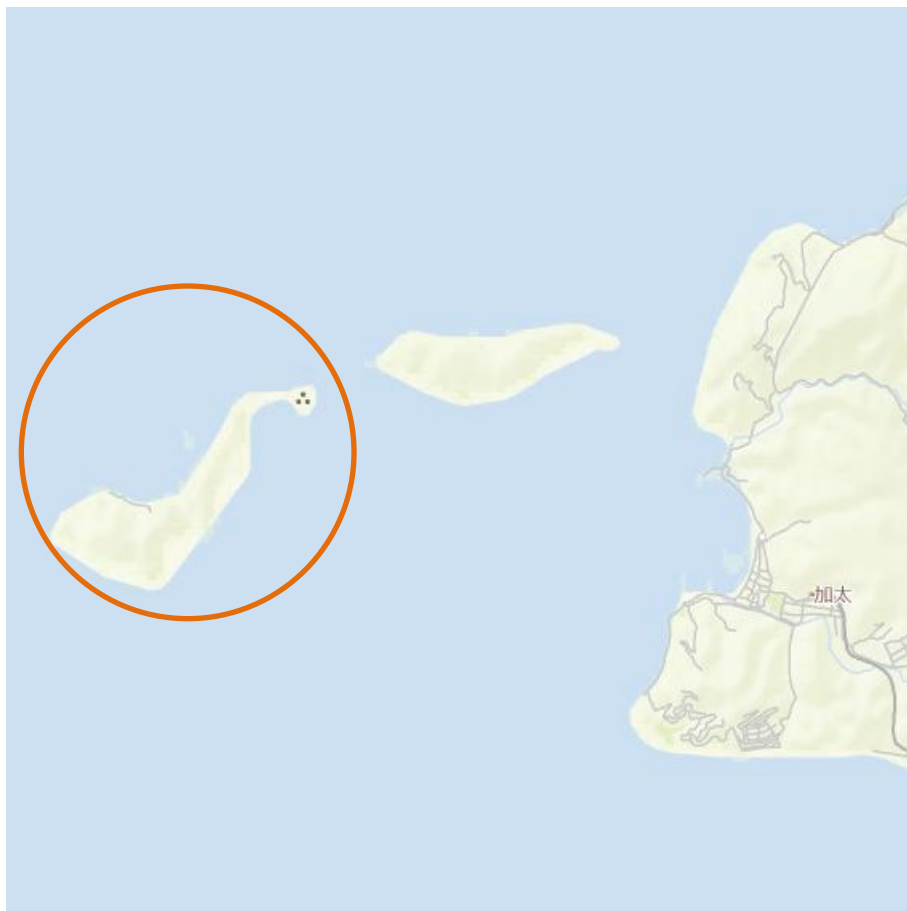


懸念されるデメリットを、どのようにして防ぐことができるか検討の上、IR導入の推進を判断する必要がある

検討した候補地



① 友ヶ島



紀淡海峡に浮かぶ地ノ島、虎島、神島、沖ノ島の総称

× 瀬戸内海国立公園の一部

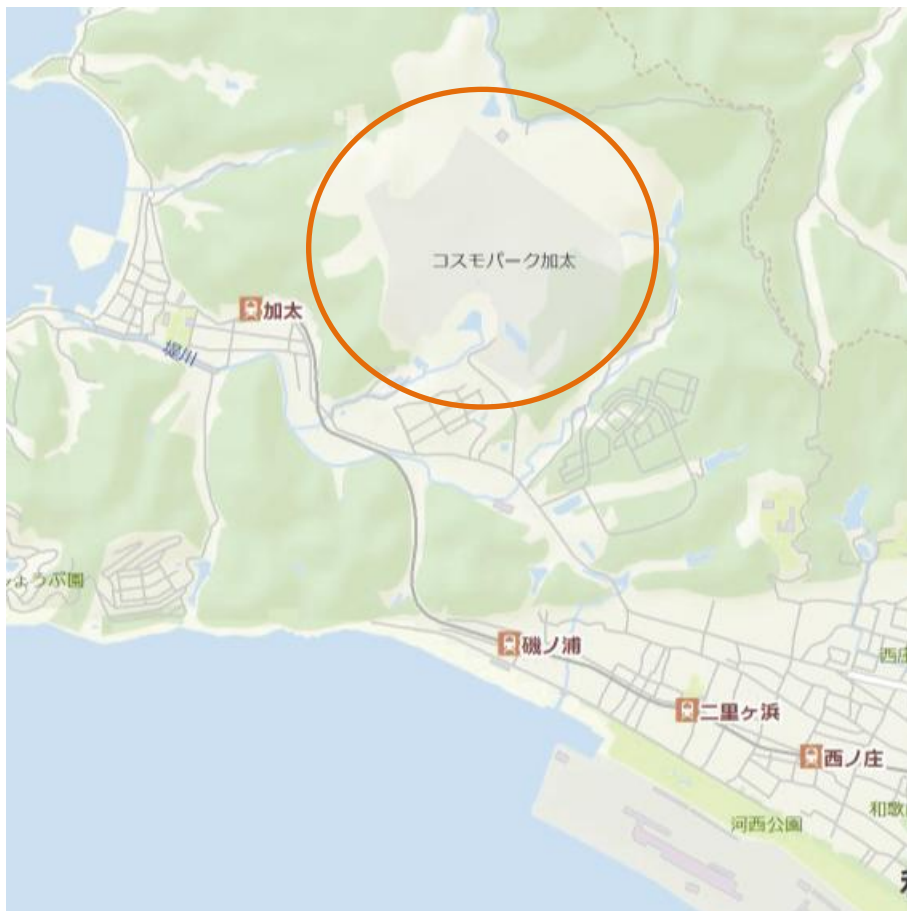
× アクセス
・ 船のみ



以下の理由で除外

- ✓ 瀬戸内海国立公園の一部であり、自然公園法により自然の保護が必要
- ✓ 現状のアクセス手段が極端に少なく船のみである

② コスモパーク加太



加太にある事業用地の未活用部分

○ 大半を自治体が保有しており、
建物もないため整備等は少なくすむ

× アクセス

- ・ 道路（和歌山北インター）
- ・ 電車（加太駅から専用通路を整備）

③ 和歌山北港西防波堤



現在活用されていない工業用地

△ 1社保有で所有者の意向次第であるが、敷地の整備等は少なくすむ

× アクセス

- ・ 船（整備が必要）
- ・ 道路（和歌山北インター）
- ・ 電車（和歌山港駅）+ バス

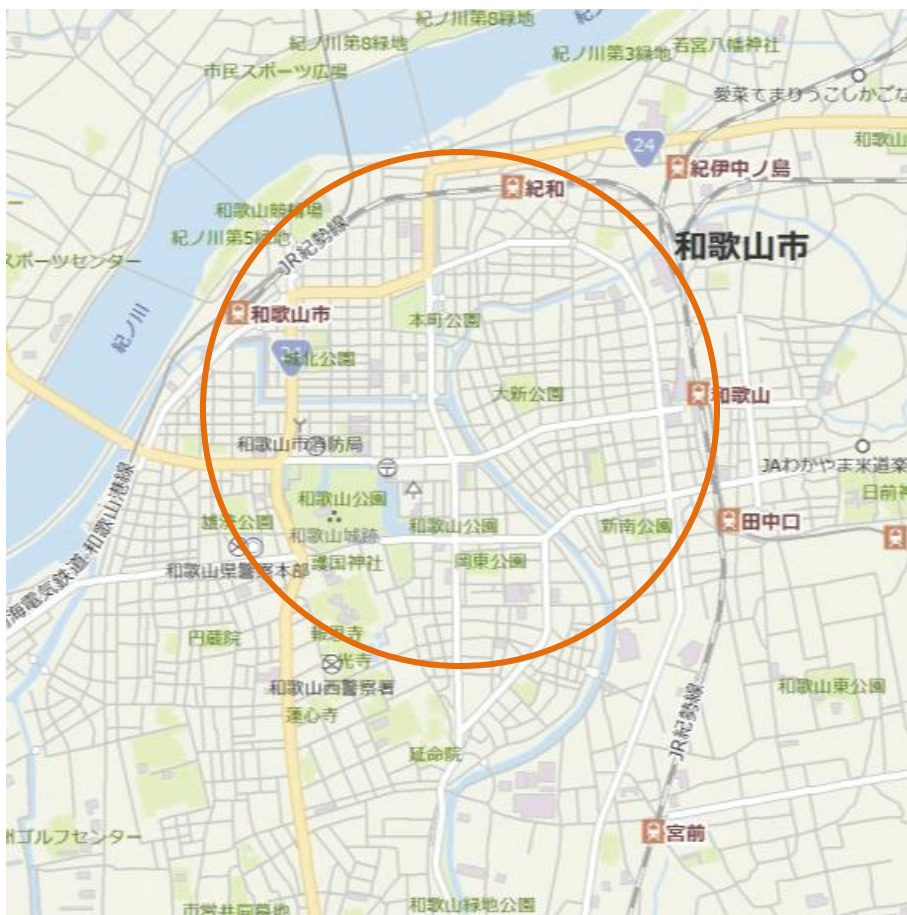
○ 周辺に住宅や工場等の建物がないため近隣への影響は少ない



以下の理由で除外

✓使用目的が決まっているため

④ まちなかエリア



市内中心部で検討

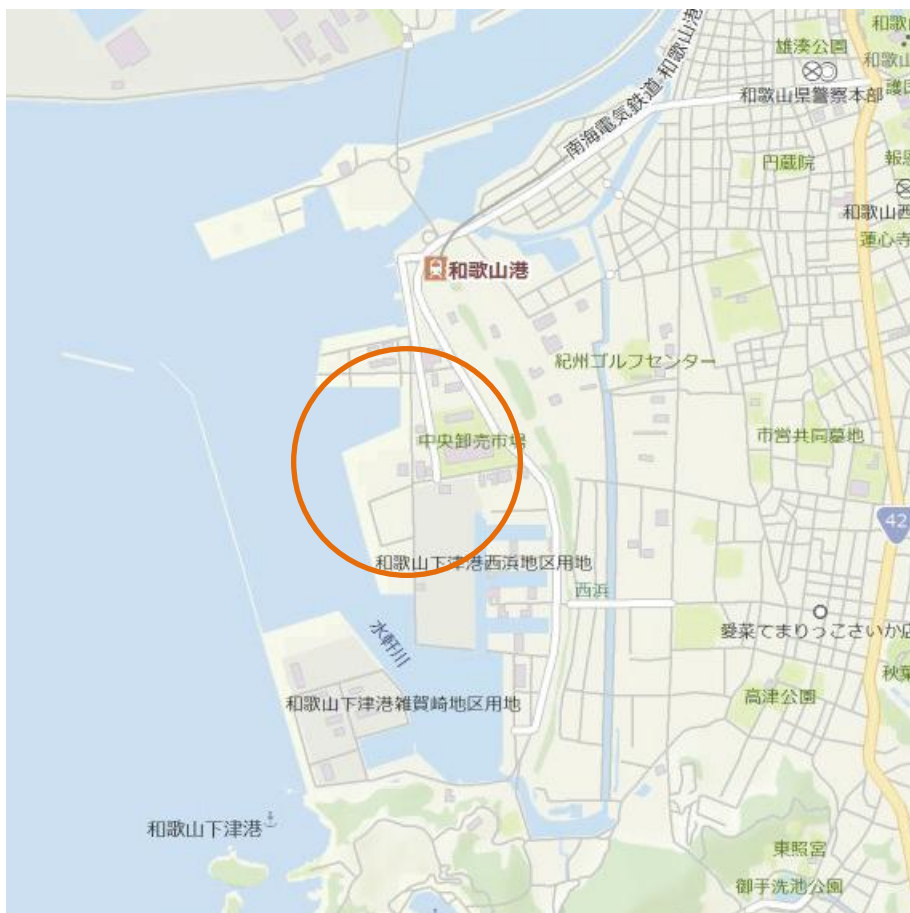
- アクセス
 - ・ 電車（JR和歌山駅・南海和歌山市駅）
 - ・ 道路（和歌山インター）
- 周辺商業地への経済効果は高い
- × 青少年への悪影響や犯罪の増加が懸念される



以下の理由で除外

- ✓ IRを建設できるほどのまとまった敷地の確保が困難
- ✓ 周辺住民からの反対が予想され、地元との合意形成に時間を要する

⑤ 中央卸売市場周辺



中央卸売市場の周辺

× 近隣にまとまった土地がない

○ アクセス

- ・ 船
- ・ 電車（和歌山港駅）
- ・ 道路（和歌山インター）

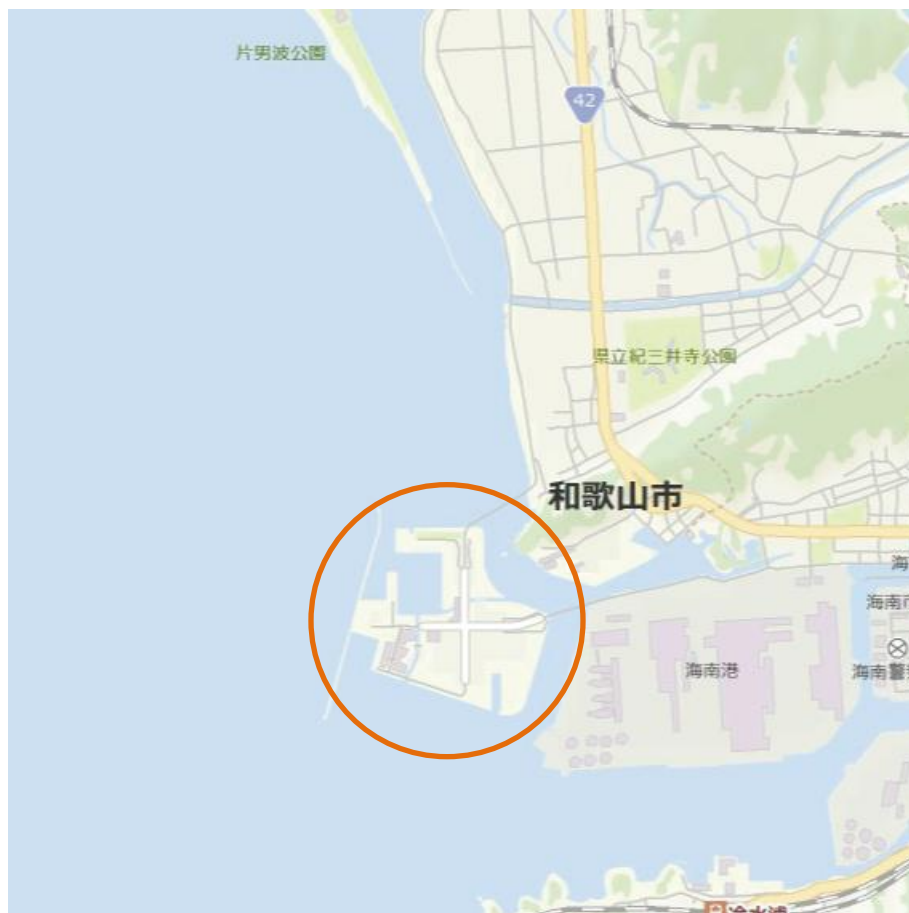
○ まちなかへの経済効果は高い



以下の理由で除外

- ✓ 周辺にIRを建設できる土地がない
- ✓ 埋め立てれば有力な候補地となるが、時間がかかる

⑥ マリーナシティ



観光地で県外からの観光客も多い

△ 民間保有のため、所有者の意向次第

○ アクセス

- ・ 船（整備必要）
- ・ 道路（和歌山南インター）
- ・ 電車（和歌山港駅）+ バス or 船

○ 観光施設があるため相乗効果が期待できる

× 近くにマンションがあるため、住民の理解を得るのに時間を要する可能性がある

アクセスについて (マリーナシティ)

- 2015年の来場者数は、ポルトヨーロッパで約60万人、黒潮市場で約180万人
- 1994年の世界リゾート博では72日間で300万人の来場者（年間にすると約1,500万人）を記録した実績がある



- 年間ベースで1,500万人の来場者を受け入れた実績はあるものの、恒常的な交通渋滞は地域住民の生活環境に悪影響を与えるため、公共交通の充実による交通渋滞の軽減を図る必要がある
- 外国人観光客やMICE施設利用者は公共交通による来場も多いと想定されるため、公共交通の利便性向上を図る必要がある

公共交通を使った現状のアクセス (マリーナシティ)

難波 : 南海線 60分 — 和歌山市 — 和歌山バス 30分 ⇒ **90分**

京都 : JR特急くろしお 95分 — 海南 — 和歌山バス 15分 ⇒ **110分**

新大阪 : JR特急くろしお 80分 — 海南 — 和歌山バス 15分 ⇒ **95分**

天王寺 : JR特急くろしお 60分 — 海南 — 和歌山バス 15分 ⇒ **75分**

関空 : 南海線 10分 — 泉佐野 30分 — 和歌山市 — 和歌山バス 30分 ⇒ **70分**

関空 : JR線 10分 — 日根野 25分 — 和歌山 — 和歌山バス 30分 ⇒ **65分**

関空 : リムジンバス 40分 — 和歌山 — 和歌山バス 30分 ⇒ **70分**

※乗継時間除く マリーナシティHP参照

公共交通によるアクセスは様々あるが、乗り継ぎの多さなどの問題があるため
改善を図る必要がある

アクセスについて (コスモパーク加太)

コスモパーク加太（最寄り駅：南海電鉄 加太駅）については、JR線を使った移動が乗り継ぎも多く不便であるため南海線でのアクセスを検討



さらに駅からバス等による移動が必要

難波 : 南海線 60分 — 和歌山市 — 加太 15分 ⇒ 75分

関空 : 南海線 10分 — 泉佐野 30分 — 和歌山市 — 加太 15分 ⇒ 55分

公共交通によるアクセスは種類も少なく、乗り継ぎの多さなどの問題があるため、道路網の改善や高速船の利用などを図る必要がある

高速船の活用を推進

道路の渋滞が予想されるため、海上輸送の充実を図る必要がある

- 関空からの移動は、高速船の活用を促進
- 電車利用に関しては、南海和歌山港駅への誘導を図り、高速船の利用を促進



【参考】

- ジェットフォイル (163 t、時速80キロ)
- 関西国際空港から、コスモパーク加太、マリーナシティへは、約30~40分で到着する

今後の進め方

IR誘致に向けた研究、議論を深めるため①～③を実施

① **デメリット対策の深化**

検討したデメリット対策について、専門家等の意見を聞いて内容を深める

② **市民からの意見聴取**

IRに対するイメージ、誘致についての賛否など市民の声を聞く
(インターネットモニター・市政世論調査)

③ **経済団体等との対話**

実現性等について、産業、交通など関係団体との意見交換を進める